

はくつちょうさ
発掘調査によって発見された遺物は、^{い ぶつ}縄文時代のものはコンテナで21箱、^{へいあん じ だい}平安時代は8箱出土しています。

^{じょうもん じ だい}縄文時代の遺物は、^{い ぶつ}朱塗土器と呼ばれるものや^{しゅ ぬり}深鉢型や^{ふかばちがた}浅鉢型の土器などが出土しています。^{は へん}破片や^{ぶ ぶん けつ}部分欠損のものが多いのですが、^{ふく げん}全体の形を復元できたものもあります。^{ど せい ひん}土製品は^{ど ぐう}土偶や^{ど すい}土錘など、^{せ っ き}石器には^{せ き ぞく}石鏃、^{ま せい}磨製石斧、^{い し ざら}石皿、^{と い し}砥石があります。

^{いの}お祈りやマツリにかかわる^{ど ぐう}土偶や^{ど せい ひん}土製品などは少ししか出土していませんが、近くで^{かん じょう はい}ストーンサークル（環状配石遺構）も^{せ き い こう}見つかり、^{ち い き}この地域は^{さい し}祭祀にかかわりがある場所ではないかと考えられています。

^{へい あん じ だい}平安時代の遺物は^{い ぶつ}土師器や^{は じ き}須恵器が出土しています。^{す え き}土師器には^{は じ き}内側を^{うち が わ}黒く^{し ょ り}処理された^{つき}坏や^{てい ぶ}底部に^{もく よう こん}木葉痕（^し大きな葉の^{あ と}敷きもの痕）が^{か め}残る甕があり、^{す え き}また須恵器には、^{てい ぶ}底部に^{あ と}ロクロ台から^{あ と}回転させながら^{あ と}切りはなした痕が残る^{つき}坏なども発見されています。



平安時代 土師器・須恵器（平成14年度調査）